



「SDGs応援割」・「コロナに負けるな割」を始めました


弊社では、4月21日より、「SDGs(持続可能な17の目標)関連」「新型コロナウイルスに影響を受けている業種の方」「新型コロナウイルス感染防止啓発」の印刷物を、通常価格から20%OFFにする、割引サービスを始めました。

少しでも、社会の役に立てればと思っております。どうぞお気軽にお問合せ下さい。



SDGs 17個の目標

「Eco列車でいこう！」～第140回～ 「三春滝桜」と「花見山公園」

(CO2排出量の少ない交通機関での旅行や、心が豊かになるような旅行を紹介するコーナーです！) 

4月3日(土)。朝4時に新潟市の自宅を出発した。天候はくもり。磐越自動車道経由で郡山東インターへ。福島県三春町に入り、6時前に駐車場に到着。坂道を5分程歩くと、日本三大桜「滝桜」が目の前に現れる。滝桜を見るのは3度目だが、何度みても感動する。樹齢1000年を超える生命力。その存在感は圧巻だ。密を避けるために早朝に訪れたので、ゆっくりと鑑賞することができた。

次に福島市にある「花見山公園」へ向かった。阿武隈川の河川敷にある臨時駐車場にクルマを置き、検温と消毒の後、シャトルバスに乗り換える。バスの乗車定員は少なく設定されており安心だ。

15分で花見山公園の入口に到着。山を見上げると、トウカイザクラ、ヒガンザクラ、ソメイヨシノ、レンギョウ、ボケ、ハナモモなど、色とりどりの花が咲いている。この山は「花木生産農家」の私有地で、ご厚意により一般に開放しているとのことだ。これだけ鮮やかな風景は、新潟には無いだろう。日本を代表する写真家が「福島に桃源郷あり」と言ったというのも頷ける。

一周40分程度の遊歩道には、ボランティアスタッフが待機しており、花の種類などを質問しながら楽しく散策することができた。

シャトルバス発着所の近くでは、臨時売店が営業中。クルミ餡の団子は、風味がよく、おいしかった。

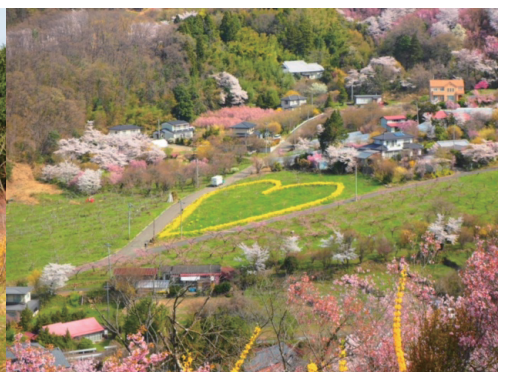
ガイドブックに掲載されていたお店で、ヒレカツと手打ちそばのセットを食べた後、産直市場に寄り、ご当地野菜を購入。山肌に雪が残る土湯峠を越えて、猪苗代方面へ。中通り地方で満開だった桜は、会津地方に入るとつぼみに変わった。鶴ヶ城の桜は、翌週末には楽しめそうである。



圧倒的な存在感の滝桜



花見山は色とりどり



菜の花でハートマーク